

N SPORT

SEATING INNOVATOR

N SPORT 底どめ式シートレール 取り扱い説明書

はじめに

- ・この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用いただく前に本書をお読みいただき、正しくご使用下さい。商品の仕様など予告なく変更する場合があります。その際は最新の取り扱い説明書を弊社ホームページにてご確認ください。
- ・製品は十分な検査のうえ出荷しておりますが、運送時の破損や損傷及び内容物に違いや不足がないか、取り付けの前に必ずご確認ください。万一、問題がありましたら、お買い求めいただいたお店までご連絡下さい。（製品の出荷から14日を経過した後のクレームは受け付けできません。また、車両への装着後のクレームは、日数に関わらず受け付けできませんのでご注意ください。）
- ・弊社製品を国外でご使用の場合、上記を含む一切のクレームは受け付けできません。
- ・シート内蔵型のサイドエアバッグ装着車には、サイドエアバッグキャンセラーをご使用下さい。（サイドエアバッグキャンセラーに関しましては、別紙「サイドエアバッグキャンセラー取り扱い説明書」をご参照下さい。）

安全に関するご注意

- !危険** 製品に加工または改造を施しての取り付け及びご使用は絶対にお止め下さい。
- !危険** 万一の事故などで、製品に著しい衝撃を受けた場合、破損や損傷の恐れがありますので、お買い求めいただいたお店までご連絡いただき、弊社にて製品の検査を受けるようにして下さい。
- !危険** シートレールをスライドさせる際はレバーなどで指を挟まないよう、ゆっくり可動させて下さい。特にシートレールの可動部には手を触れないよう、ご注意ください。指を詰める場合があります、極めて危険です。
- !危険** シートレールがロックされていない状態での走行は極めて危険です。シートレールがロックされているか、走行の前に必ずご確認ください。
- !危険** 思わぬ事故につながる場合がありますので、走行中はスライドレバーなどの調整機構を操作しないで下さい。
- !危険** 清掃などでシートの下に手を入れる際は、突起物に充分ご注意ください。


















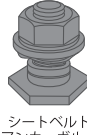

製品の取り扱いについて

- ・純正シートの取り外し
- 1: 純正シートにサイドエアバッグやシートベルトプリテンショナーなどの電子制御部品が付いている場合、バッテリーのマイナス端子を外し、3分程度放電して下さい。
- 2: 純正シートを車体に固定しているボルト（またはナット）を、メガネレンチやボックスレンチなどの適切な工具を使用して緩めます。
- 3: 純正シート及び車体につながる配線カブラーがある場合、カブラーを外し、車内から純正シートを取り出します。この際、純正シートレールの突起物などで車体に傷がつかないように、充分ご注意ください。
- 4: 純正シートにシートベルトキャッチが付いている場合、弊社製品に移設しますので、純正シートから取り外して下さい。その他、移設が必要な電子制御部品があれば、同様に取り外して下さい。（上記は一般的な作業手順になります。車種毎の詳しい作業手順は、自動車メーカーの整備書をご参照下さい。）

【取り扱い及び取り付けのポイント】

- 1: シートレールに添付されているラベルの表記が、ご使用される車両に合致しているかをご確認ください。
- 2: 一部のシートレールを除き、スライドレバーを引き上げるとロックが解除され、下ろすとロックが掛かります。ロック機構が正しく作動するかご確認ください。
- 3: シート本体にシートレールを取り付ける前に、シートレール（車体取り付けフレーム）を車体のボルト固定位置に合わせて仮置きし、全ての固定位置が合うことをご確認ください。
製品及び車両の個体差や、車両の経年劣化による歪みから、車体とシートレールの取り付け面に隙間が生じる場合があります。必要に応じてワッシャーなどをご使用下さい。
- 4: 純正シートから取り外したシートベルトキャッチを、製品に付属のシートベルトアンカーボルトセットを使用し、フレームの取り付け位置に取り付けて下さい。
詳しくは本書記載の「シートベルトキャッチの取り付け方」をご参照下さい。（一部の車種において、純正ボルト・ナットを流用して取り付け場合があります。）
- 5: 必要に応じてサイドエアバッグキャンセラーの装着及び面圧センサーなどの移設を行なって下さい。面圧センサーは原則として助手席側純正シートに内蔵されており、運転席側のみ交換される場合は移設の必要はありません。また、純正シートから面圧センサーを取り出すと、多くの場合、元の状態に戻すのが困難になります。
あらかじめカーディーラーなどで、お取り寄せされることを推奨致します。
- 6: シート本体とシートレールの取り付けに関しましては、各製品の取り付け図をご参照下さい。
- 7: 必要に応じて電子制御部品をシートレールに固定して下さい。
- 8: シートレールを取り付けたシートを車内へ移動します。この際、シートレールの突起物などで車体に傷がつかないように、充分ご注意ください。
- 9: シート及び車体につながる配線カブラーを接続します。この際、シートレールをスライドさせて、配線のシートレールへの巻き込みがないことや、他の部分との引っ掛かりがないことをご確認ください。
- 10: 車体への固定は原則として純正ボルトを流用します。シートレールのボルト固定穴は、製品及び車両の個体差や、車両の経年劣化による歪みを考慮して大きめに製作していますので、必要に応じて製品に付属のスペーサーをワッシャーとしてご使用下さい。全てのボルトを手で仮締めした後、メガネレンチやボックスレンチなどの適切な工具を使用して、確実に車体へ取り付けます。ボルトの増し締めは対角線上に行ない、締め付けトルクは自動車メーカーの整備書に従って下さい。
- 11: 作業が終わりましたら、シートレールのロック機構が正しく作動するか、スライドレバーとシート（または車体）との干渉がないかを必ずご確認ください。シートレールはシートに対しては汎用品のため、取り付けのシートによりスライドレバーが干渉する場合があります。スライドレバーは中空で製作していますので、一定程度、手で曲がります。
干渉がない位置に曲げてご使用下さい。
（電動ドライバーやインパクトレンチのご使用は、オーバートルクやボルトのネジ切れにつながる恐れがありますので、使用しないで下さい。）

ボルト・ナット・ワッシャー・スペーサー類パーツ一覧

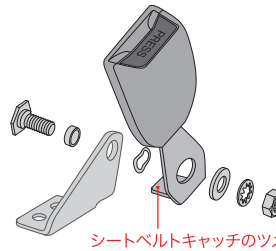
①  M8×25mm キャップボルト	②  M8×20mm キャップボルト	③  M8×10mm キャップボルト	④  M6×20mm キャップボルト	⑤  M8×20mm 皿キャップボルト	⑥  M6×20mm 皿キャップボルト	⑦  M8×30mm 六角ボルト	⑧  M8×20mm 六角ボルト	⑨  M8×25mm 六角ボルト	⑩  M8 フランジナット
⑪  M6 平ワッシャー	⑫  M8 平ワッシャー	⑬  3.2mm スペーサー	⑭  8.5mm スペーサー	⑮  8mm 内歯 座金	⑯  8mm ローゼット ワッシャー	⑰  6mm 皿形 外歯 座金	⑱  シートベルト アンカーボルト セット	⑲  車体固定 ボルト ワッシャー	

シートベルトキャッチの取り付け方

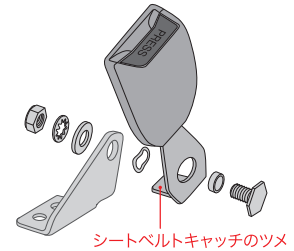
シートベルトキャッチのツメが干渉する場合は、そのツメをカットしてください。
(ツメが無い車種もあります。)

純正シートにシートベルトプリテンショナーが装備されている場合など、取り付け方及び付属品が異なる場合があります。

フロアとのクリアランスが広い場合

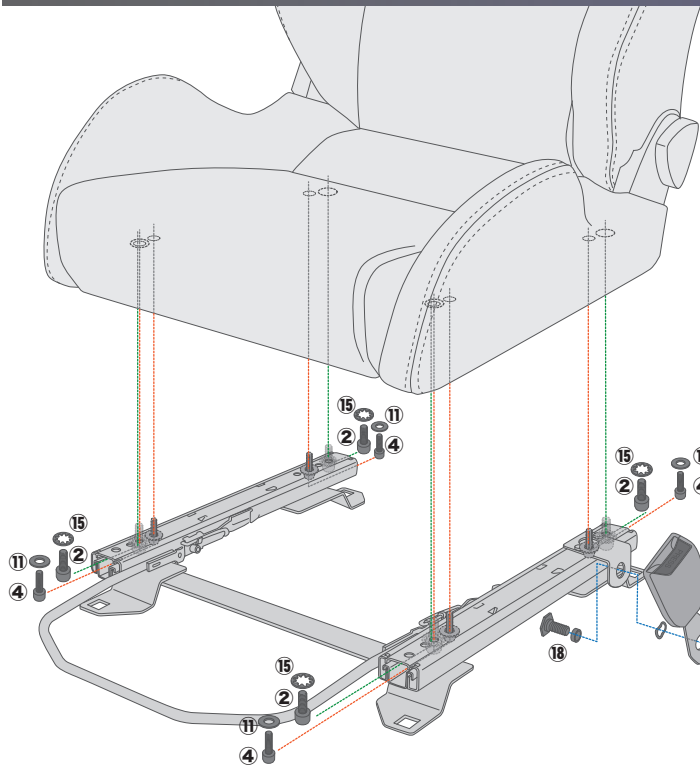


フロアとのクリアランスが狭い場合



N SPORT B1 Bottom 1 Position

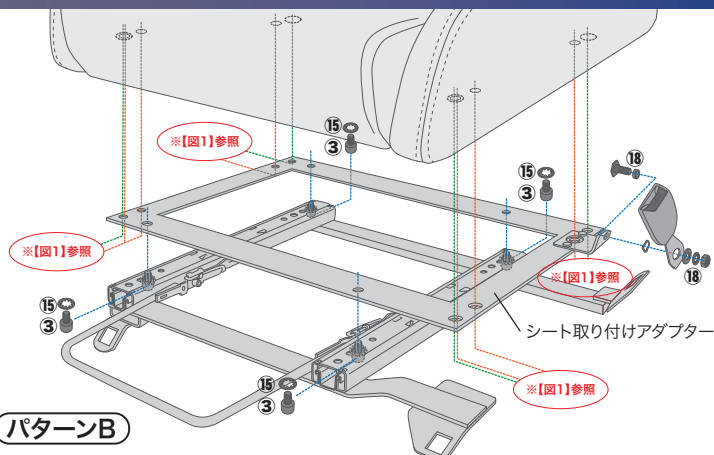
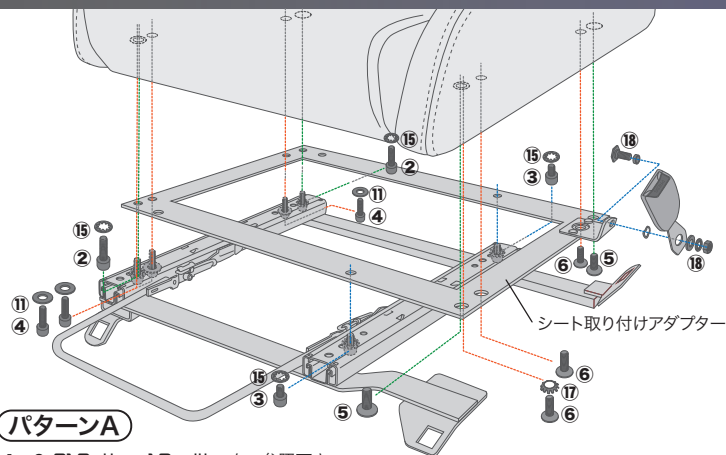
底どめ式 1ポジション シートレール



- 1:本書表紙に記載の「取り扱い及び取り付けのポイント」をご参照のうえ、作業を行って下さい。
- 2:(シートレール両端の)スライドレールの前後の位置が、左右でズれていないかをご確認下さい。
ズれているとシート本体に取り付けできませんので、前後にスライドさせて位置を合わせて下さい。
- 3:純正シートにシートベルトキャッチが固定されている場合は、シートレールのシートベルトキャッチ用ステーに⑩(シートベルトアンカーボルトセット)を用いて移設します。左図及び本書記載の「シートベルトキャッチの取り付け方」をご参照下さい。
※ボルトの長さが足りないなど、一部の車種において、純正ボルトを流用して取り付ける場合があります。
- 4:シートレールを後方にスライドさせて、シート本体後側のボルト固定穴に、スライドレールの内側からボルトで仮止めします。M8ボルト4箇所どめのシートには、②(M8×20mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を使用します。
続いてシートレールを前方にスライドさせて、上記と同様に仮止めします。
※M8ボルト4箇所どめのシートについては、基本位置(左図)より先方に36mmオフセットさせて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最後方のボルト固定穴を基点に、シート本体を仮止めして下さい。
- ※シートによりスペーサーセットが別途必要となります。スペーサーセットを使用して取り付ける場合は、別紙「スペーサーセット取り扱い説明書」をご参照下さい。
- ※ブリッド・コブラ・スバルコなど、取り付けピッチ変換アダプターを使用して取り付ける場合は、別紙「取り付けピッチ変換アダプター取り扱い説明書」をご参照下さい。
- 5:仮止めたボルトを、対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。
正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。
- 6:純正ボルトを流用し、車体へ固定します。必要に応じて⑬(3.2mmスペーサー)をワッシャーとしてご使用下さい。
※一部の車種において、純正ボルトで固定できない場合があります。そのような車種には⑲(車体固定ボルト・ワッシャー)を付属させておりますので、そちらをご使用下さい。

N SPORT B1 Bottom 1 Position offset

底どめ式 1ポジション オフセット シートレール



パターンA

1~3:B1 Bottom 1 Positionをご参照下さい。

4:シート取り付けアダプターから、出荷時に仮止めされている③(M8×10mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を外し、シート本体に仮止めします。

「パターンA」センターコンソール側のみ仮止めします。M8ボルト4箇所どめのシートには、⑤(M8×20mm皿キャップボルト)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、⑥(M6×20mm皿キャップボルト)を使用しますが、センターコンソール側の最前方はM8径ボルト穴のため、M6ボルト6箇所どめのシートには、⑰(6mm皿形外歯座金)を併用して下さい。

「パターンB」M8ボルト4箇所どめのシートには、⑤(M8×20mm皿キャップボルト)もしくは①(M8×25mmキャップボルト)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、⑥(M6×20mm皿キャップボルト)と⑰(6mm皿形外歯座金)もしくは④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を、【図1】をご参照のうえ、ご使用下さい。

5:4で仮止めたシート本体とシート取り付けアダプターを、シートレールを前後にスライドさせて、スライドレールの内側からボルトで仮止めします。

「パターンA」センターコンソール側は、M8ボルト4箇所どめのシート、M6ボルト6箇所どめのシートともに、③(M8×10mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を使用します。ドア側は、シート本体及びシート取り付けアダプターと共締めになり、M8ボルト4箇所どめのシートには、②(M8×20mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を使用します。

「パターンB」M8ボルト4箇所どめのシート、M6ボルト6箇所どめのシートともに、③(M8×10mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を使用します。

「パターンA」は、M8ボルト4箇所どめのシートのみ、「パターンB」は、M8ボルト4箇所どめのシート、

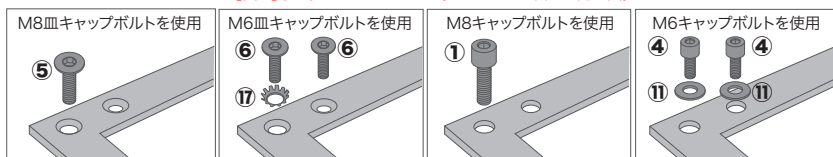
M6ボルト6箇所どめのシートともに、基本位置(上図)より前方に36mmオフセット

させて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最後方のボルト固定穴を基点に、シート取り付けアダプターを仮止めして下さい。

6:4と5で仮止めたボルトを、それぞれ対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。

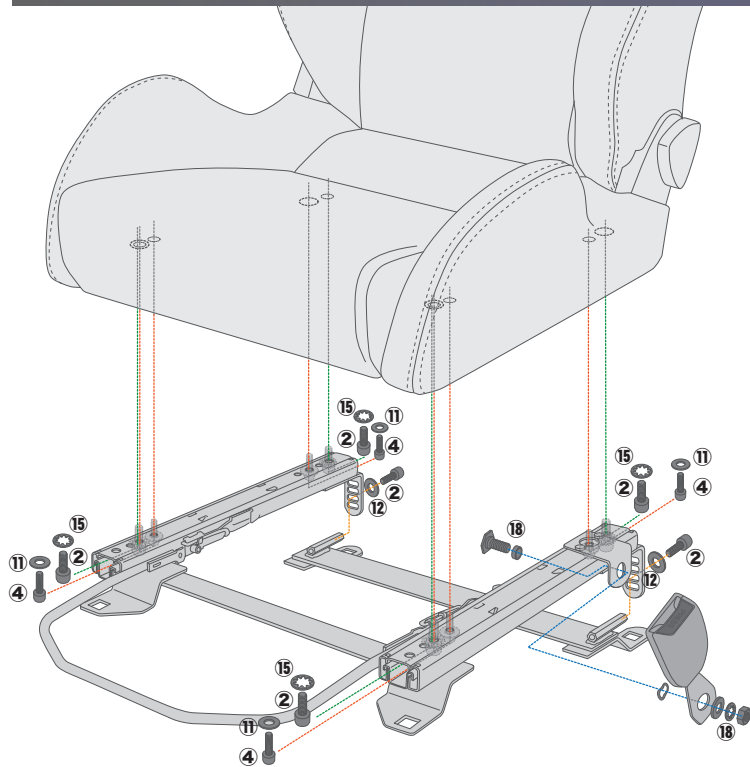
7:B1 Bottom 1 Positionの6をご参照下さい。

※【図1】取り付けボルトについて(アダプターを裏から見た図)



N SPORT B4 Bottom 4 Position

底どめ式 4ポジション シートレール

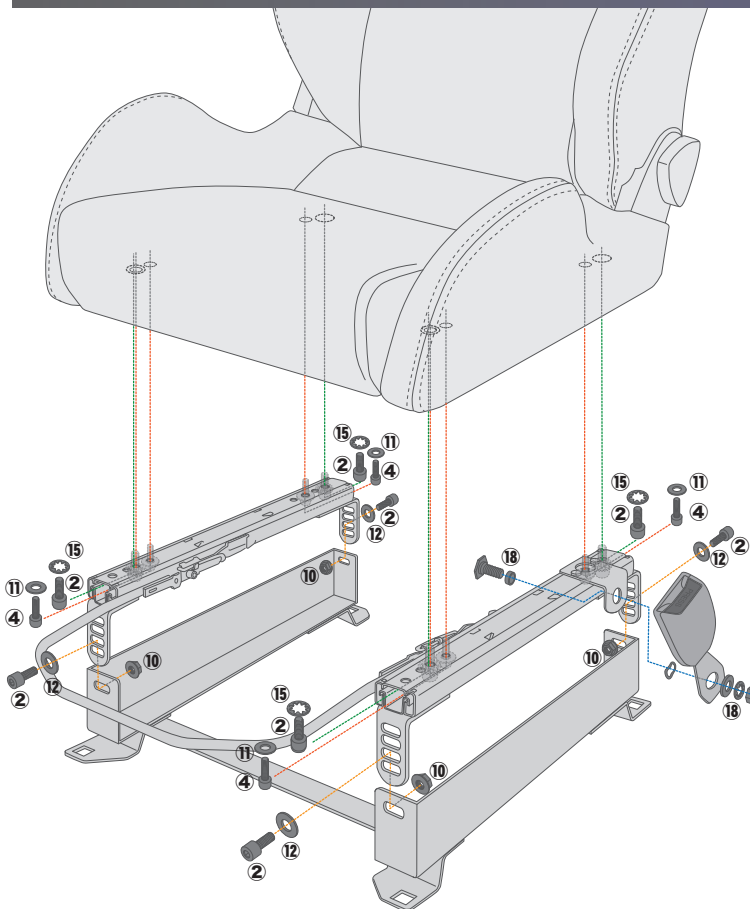


- 1: 本書表紙に記載の「取り扱い及び取り付けのポイント」をご参照のうえ、作業を行って下さい。
- 2: (シートレール両端の)スライドレールの前後の位置が、左右でズれていないかをご確認下さい。
ズれているとシート本体に取り付けできませんので、前後にスライドさせて位置を合わせて下さい。
- 3: 純正シートにシートベルトキャッチが固定されている場合は、シートレールのシートベルトキャッチ用ステーに⑩(シートベルトアンカーボルトセット)を用いて移設します。左図及び本書記載の「シートベルトキャッチの取り付け方」をご参照下さい。
※ボルトの長さが足りないなど、一部の車種において、純正ボルトを流用して取り付ける場合があります。
- 4: シートレールを後方にスライドさせて、シート本体後側のボルト固定穴に、スライドレールの内側からボルトで仮どめます。M8ボルト4箇所どめのシートには、②(M8×20mmキャップボルト)と⑬(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を使用します。
続いてシートレールを前方にスライドさせて、上記と同様に仮どめます。
※M8ボルト4箇所どめのシートについては、基本位置(左図)より先方に36mmオフセットさせて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最後方のボルト固定穴を基点に、シート本体を仮どめて下さい。
※シートによりスペーサーセットが別途必要となります。スペーサーセットを使用して取り付ける場合は、別紙「スペーサーセット取り扱い説明書」をご参照下さい。
※ブリッド・コブラ・スパルコなど、取り付けピッチ変換アダプターを使用して取り付ける場合は、別紙「取り付けピッチ変換アダプター取り扱い説明書」をご参照下さい。
- 5: 仮どめたボルトを、対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。
正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。
- 6: シートレールと、後方の独立した車体取り付けフレームを、②(M8×20mmキャップボルト)と⑫(M8平ワッシャー)を使用して仮どめます。車種及びポジションにより、スライドレール後方のステー先端と車体取り付けフレームが干渉する場合があります。ここでは干渉しないポジションで仮どめて下さい。
- 7: 純正ボルトを流用し、車体へ固定します。必要に応じて⑬(3.2mmスペーサー)をワッシャーとしてご使用下さい。
※一部の車種において、純正ボルトで固定できない場合があります。そのような車種には⑭(車体固定ボルト・ワッシャー)を付属させておりますので、そちらをご使用下さい。

8: 6で仮どめた箇所を、均等なトルク(22.5N・m)で増し締めします。(ポジションの)下方向への調整時、スライドレール後方のステー先端と、車体フロアや車体取り付けフレームが干渉し、調整可能な段数が制限される場合があります。その際は、ステーの使用しない部分を鉄ノコギリやグラインダーでカットし、錆びの防止に、カット面を市販のタッチペンや塗料でタッチアップして下さい。

N SPORT B16 Bottom 4×4 Position

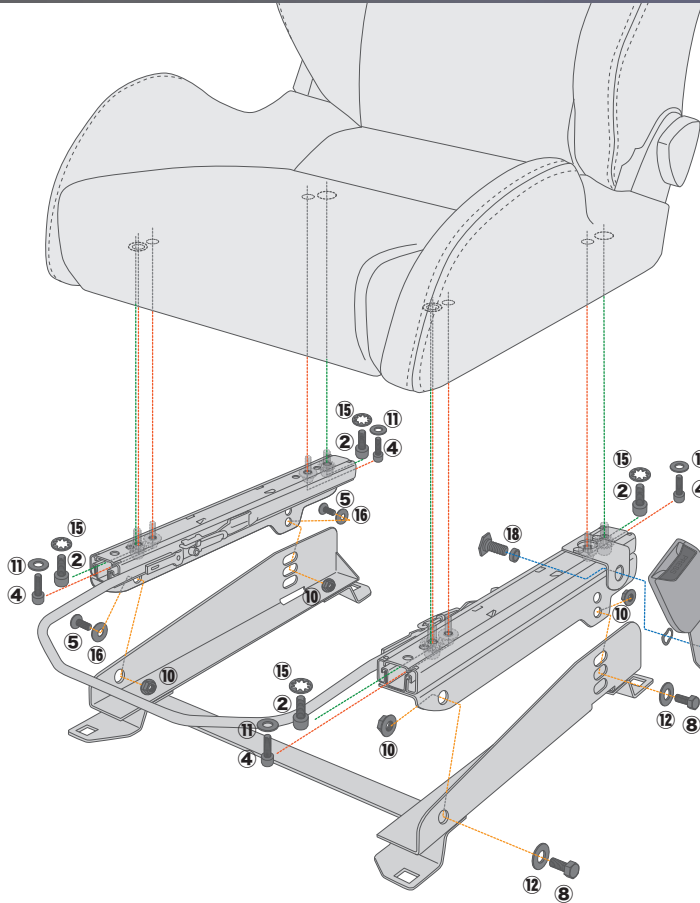
底どめ式 4×4ポジション シートレール



- 1: 本書表紙に記載の「取り扱い及び取り付けのポイント」をご参照のうえ、作業を行って下さい。
- 2: (シートレール両端の)スライドレールの前後の位置が、左右でズれていないかをご確認下さい。
ズれているとシート本体に取り付けできませんので、前後にスライドさせて位置を合わせて下さい。
- 3: 純正シートにシートベルトキャッチが固定されている場合は、シートレールのシートベルトキャッチ用ステーに⑩(シートベルトアンカーボルトセット)を用いて移設します。左図及び本書記載の「シートベルトキャッチの取り付け方」をご参照下さい。
※ボルトの長さが足りないなど、一部の車種において、純正ボルトを流用して取り付ける場合があります。
- 4: シートレールを後方にスライドさせて、シート本体後側のボルト固定穴に、スライドレールの内側からボルトで仮どめます。M8ボルト4箇所どめのシートには、②(M8×20mmキャップボルト)と⑬(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を使用します。
続いてシートレールを前方にスライドさせて、上記と同様に仮どめます。
※M8ボルト4箇所どめのシートについては、基本位置(左図)より先方に36mmオフセットさせて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最後方のボルト固定穴を基点に、シート本体を仮どめて下さい。
※シートによりスペーサーセットが別途必要となります。スペーサーセットを使用して取り付ける場合は、別紙「スペーサーセット取り扱い説明書」をご参照下さい。
※ブリッド・コブラ・スパルコなど、取り付けピッチ変換アダプターを使用して取り付ける場合は、別紙「取り付けピッチ変換アダプター取り扱い説明書」をご参照下さい。
- 5: 仮どめたボルトを、対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。
正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。
- 6: シートレールと車体取り付けフレームを、②(M8×20mmキャップボルト)と⑫(M8平ワッシャー)及び⑩(M8フランジナット)を使用して仮どめます。車種及びポジションにより、スライドレール前方、または後方のステー先端と、車体取り付けフレームが干渉する場合があります。ここでは干渉しないポジションで仮どめて下さい。
- 7: 純正ボルトを流用し、車体へ固定します。必要に応じて⑬(3.2mmスペーサー)をワッシャーとしてご使用下さい。
※一部の車種において、純正ボルトで固定できない場合があります。そのような車種には⑭(車体固定ボルト・ワッシャー)を付属させておりますので、そちらをご使用下さい。
- 8: 6で仮どめた箇所を、均等なトルク(22.5N・m)で増し締めします。(ポジションの)下方向への調整時、スライドレール前方、または後方のステー先端と、車体フロアや車体取り付けフレームが干渉し、調整可能な段数が制限される場合があります。その際は、ステーの使用しない部分を鉄ノコギリやグラインダーでカットし、錆びの防止に、カット面を市販のタッチペンや塗料でタッチアップして下さい。

N SPORT B6 Bottom 6 Position

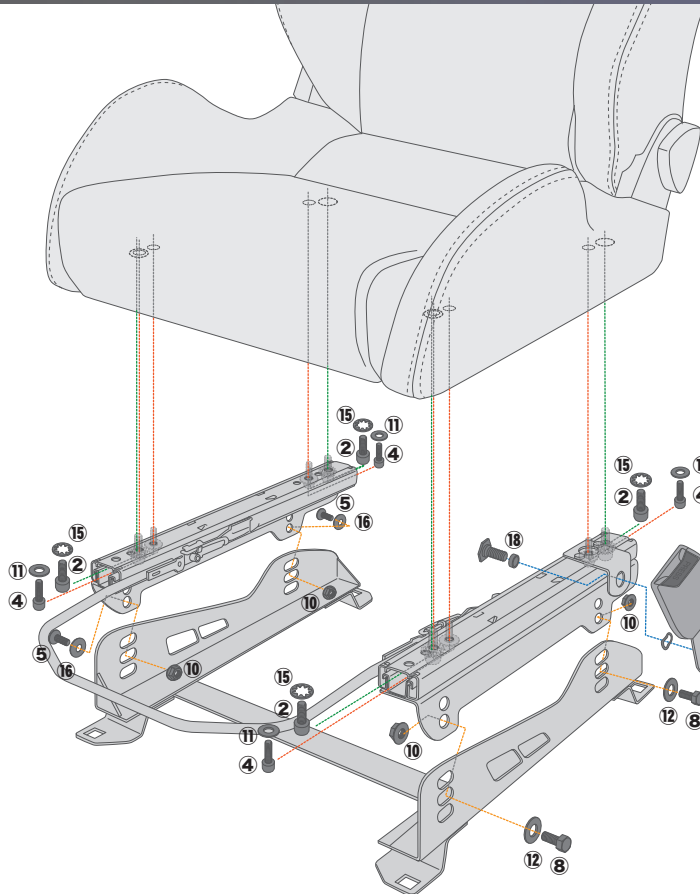
底どめ式 6ポジション シートレール



- 1:本書表紙に記載の「取り扱い及び取り付けのポイント」をご参照のうえ、作業を行って下さい。
- 2:(シートレール両端の)スライドレールの前後の位置が、左右でズれていないかをご確認下さい。ズれているとシート本体に取り付けできませんので、前後にスライドさせて位置を合わせて下さい。
- 3:純正シートにシートベルトキャッチが固定されている場合は、シートレールのシートベルトキャッチ用ステーに⑩(シートベルトアンカーボルトセット)を用いて移設します。左図及び本書記載の「シートベルトキャッチの取り付け方」をご参照下さい。
※ボルトの長さが足りないなど、一部の車種において、純正ボルトを流用して取り付ける場合があります。
- 4:シートレールを後方にスライドさせて、シート本体後側のボルト固定穴に、スライドレールの内側からボルトで仮どめます。M8ボルト4箇所どめのシートには、②(M8×20mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を使用します。
続いてシートレールを前方にスライドさせて、上記と同様に仮どめます。
※M8ボルト4箇所どめのシートについては、基本位置(左図)より先方に36mmオフセットさせて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最後方のボルト固定穴を基点に、シート本体を仮どめて下さい。
※シートによりスペーサーセットが別途必要となります。スペーサーセットを使用して取り付ける場合は、別紙「スペーサーセット取り扱い説明書」をご参照下さい。
※ブリッド・コブラ・スパルコなど、取り付けピッチ変換アダプターを使用して取り付ける場合は、別紙「取り付けピッチ変換アダプター取り扱い説明書」をご参照下さい。
- 5:仮どめたボルトを、対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。
- 6:シートレールと車体取り付けフレームを(後方は任意のポジションで)仮どめます。センターコンソール側は⑧(M8×20mm六角ボルト)と⑫(M8平ワッシャー)及び⑩(M8フランジナット)を、ドア側には⑤(M8×20mm皿キャップボルト)と⑯(8mmローゼットワッシャー)及び⑩(M8フランジナット)を使用します。車種及びポジションにより、スライドレール後方の(2個のボルト穴を設けた)ステー先端が、車体フロアに干渉する場合があります。その際は、8をご参照下さい。
- 7:純正ボルトを流用し、車体へ固定します。必要に応じて⑬(3.2mmスペーサー)をワッシャーとしてご使用下さい。
※一部の車種において、純正ボルトで固定できない場合があります。そのような車種には⑱(車体固定ボルト・ワッシャー)を付属させておりますので、そちらをご使用下さい。
- 8:6で仮どめた箇所を、均等なトルク(22.5N・m)で増し締めします。(ポジションの)下方向への調整時、スライドレール後方のステー先端と車体フロアが干渉し、調整可能な段数が制限される場合があります。その際は、ステーの使用しない部分を鉄ノコギリやグラインダーでカットし、錆びの防止に、カット面を市販のタッチペンや塗料でタッチアップして下さい。

N SPORT B36 Bottom 6×6 Position

底どめ式 6×6ポジション シートレール



- 1:本書表紙に記載の「取り扱い及び取り付けのポイント」をご参照のうえ、作業を行って下さい。
- 2:(シートレール両端の)スライドレールの前後の位置が、左右でズれていないかをご確認下さい。ズれているとシート本体に取り付けできませんので、前後にスライドさせて位置を合わせて下さい。
- 3:純正シートにシートベルトキャッチが固定されている場合は、シートレールのシートベルトキャッチ用ステーに⑩(シートベルトアンカーボルトセット)を用いて移設します。左図及び本書記載の「シートベルトキャッチの取り付け方」をご参照下さい。
※ボルトの長さが足りないなど、一部の車種において、純正ボルトを流用して取り付ける場合があります。
- 4:シートレールを後方にスライドさせて、シート本体後側のボルト固定穴に、スライドレールの内側からボルトで仮どめます。M8ボルト4箇所どめのシートには、②(M8×20mmキャップボルト)と⑮(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、④(M6×20mmキャップボルト)と⑪(M6平ワッシャー)を使用します。
続いてシートレールを前方にスライドさせて、上記と同様に仮どめます。
※M8ボルト4箇所どめのシートについては、基本位置(左図)より先方に36mmオフセットさせて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最後方のボルト固定穴を基点に、シート本体を仮どめて下さい。
※シートによりスペーサーセットが別途必要となります。スペーサーセットを使用して取り付ける場合は、別紙「スペーサーセット取り扱い説明書」をご参照下さい。
※ブリッド・コブラ・スパルコなど、取り付けピッチ変換アダプターを使用して取り付ける場合は、別紙「取り付けピッチ変換アダプター取り扱い説明書」をご参照下さい。
- 5:仮どめたボルトを、対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。
- 6:シートレールと車体取り付けフレームを、前方・後方ともに任意のポジションで仮どめます。センターコンソール側は⑧(M8×20mm六角ボルト)と⑫(M8平ワッシャー)及び⑩(M8フランジナット)を、ドア側には⑤(M8×20mm皿キャップボルト)と⑯(8mmローゼットワッシャー)及び⑩(M8フランジナット)を使用します。
- 7:純正ボルトを流用し、車体へ固定します。必要に応じて⑬(3.2mmスペーサー)をワッシャーとしてご使用下さい。
※一部の車種において、純正ボルトで固定できない場合があります。そのような車種には⑱(車体固定ボルト・ワッシャー)を付属させておりますので、そちらをご使用下さい。
- 8:6で仮どめた箇所を、均等なトルク(22.5N・m)で増し締めします。